

たけた 市議会だより

No.12 発行 平成20年5月1日

編集 ■ 市議会だより編集委員会 ☎0974-63-4813 印刷 ■ えとう印刷



「元気な竹田っ子シリーズ」
「清掃活動しながら歓迎遠足（都野中学校）」



政治の原点を考える

近者説遠者来

ようひ

今から2、500年前の孔子の言葉である。政治はこの一言に尽きると思う。

まず、「自分の周りの人々が喜ぶことをしなさい。それを聞いて遠くの人々が集まることをしなさい。」という意味である。

竹田市に住む住民が喜び合えるまち。それを聞いて竹田市に住みたくなるまちをつくること。

常にそこに住む住民のための政治であり、住民部主体であるということである。

竹田市の中心地から由布市方面へ15〜20キロメートル。旧天領「下竹田村」がある。

”ここは親孝行の里”

天領下竹田”

今、下竹田では、村を考える会」の有志により、道の端に大きな標柱が建設計画中である。

ここは、天領の地の由縁か、お寺やお宮が多く水に恵まれた地である。これからも温もりの中に住む人々が助け合い、喜び合える村であることを祈りたい。

編集委員 小代一幸

平成20年度予算の大まかな見方

平成20年3月議会

予算特別委員長 井 英 昭



一般財源枠配分方式により、事業の見直し、優先度の選択、財源の重点配分を行うなど限られた予算のなかでメリハリのある予算となるよう工夫したそうだ。予算を組む段階から、19年度は前年度比10%削減、20年度は5%削減を割り当て、2半間で16・7%の削減になった。

20年度一般会計当初予算で目立つ部分は、総務費では国民体育大会費に伴う約2億円の増、衛生費では救急病院へ補助・委託金約4千万円の減額を含む約1億円の減、ただし救急1件あたり9千円、総額567万円の補助金を新設、農林水産業費では、基盤整備費約1億5千万円の減、基盤整備に伴う農道整備約5千万円の減、トマトへの強化対策整備事業約1億4千万円の減などを含む約4億8千万円の

減。教育費では、給食調理場建設費がなくなった分が約7億円、新たに竹田中学校の移転に伴う費用が5億7千万円などで差し引き約1億7千万円の減となっている。

その他には退職手当組合脱退により、毎年の負担金約6億5千万円がなくなり、竹田市が一般会計のなかで運営するように



予算特別委員会

農林水産費の減額が大きく目立つが、補助を市の方からカットしたのではなく、補助件を用意

していたが申請がなかったことが理由となっている。

一般会計と特別会計の合計を昨年度と比較すると、昨年度は約306億9千万円で20年度は約262億5千万円と約44億4千万円もの減になっている。主な理由は、後期高齢者医療制度創設に伴い老人医療制度も変更と

なり、後期高齢者医療特別会計約3億9千万円が新設され、一方で老人保険特別会計が約52億8千万円の大幅な域になったことがあげられる。県内全市町村が加入する広域連合に一般会計からも約4億4千万円を拠出している

議員定数22名に決定 次回選挙から

議会活性化・改革委員会報告

議会活性化・改革委員長 渡 辺 龍太郎



本来の役割(議論・立案・公開等)を果たす事。

このような中、平成19年度から、竹田市議会は、これまでの個人としての活動から、さらに活発な活動をするため会派制度を採用した。

また、平成19年7月に議会の改革と活性化を図るため各5会派からの代表者と議長・副議長を含めた「議会活性化・改革委員会」を設置した。

委員会では、5会派から検討項目の提出を求め、検討の結果21項目について検討することを決定。中でも早期に解決できるものや、結論を求めるものについて集中的に議論し、期限を決め、報告することを決定した。



4月22日の記者会見

とりわけ「議員定数」については、21年度に選挙が実施されることにより、新しく議会に意欲を燃やす新人の準備のために、1年前には結論を出す事とし、竹田市自治会長会をはじめ、市民団体と意見交換会を実施し、意見を拝聴してきた。平成21年度より総合支所方式から本庁方式に移行し2課20名体制となり、さらにサービスの低下が心配される。また、次回選挙は全市一区制で行われ地域バランスで不透明な部分が考えられる。市議会議員として全体を見合わせる事は当然だが、477の広大な竹田市にあつて急激な定数削減については初めての全市一匹制では避けるべきとの考えで一致し、次回定数を22名に決定した。今後「竹田市議会基本条例」の作成を含め、議会の活性化と改革(チャレンジしていく。

代 表 質 問

平成20年第1回定例会は、3月6日から3月27日までの22日間の日程で開かれました。3月13日は、5会派の代表による代表質問、3月14日、17日は、6人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。

なお、原稿は議員本人が執筆しています。



新風会
加藤正義 議員

集落営農一育成への取り組みについて

加藤 集落営農が、喫緊の課題だが、どう推進するのか。

例えば、いくつかの集落、校区ごとの組織化は。また、農家が安心して暮らせる元気でやさしい地域がつくれる質の向上は。

産業建設部長 農地の活用・水路・長道の管理を集落でやれるよう集落営農組織が必要であり推進する。現在任意組織48、法人4。20年度は任意、法人とも5組織の拡大を図る。

数集落、分団単位、校区単位などの組織化も可能。また、集落全員が参加できる話し合いを行う環境作りに取り組む。

加藤 世界的な穀物不足の中、自給率を高めるラストチャンスか

もしれない。米作を大胆に見直すべき。市内には、米作に適した産地もあり、高齢者の得意技でもある。奨励と販路の確保に積極的支援を。

産業建設部長 地域の特性を活かした、売れる米づくりを基本に生産・販売拡大を展開する。

加藤 奇跡的な医師確保が進み、1次救急の回復となったが、

救急医療の「医師会病院」をどう支援するのか

この医師会病院を市としてどう位置付け、助成するのか。

市長 市民にとつて心強く、地域の中核病院としてなくてはならない存在である。

市民福祉部長 市単独の補助制度を創設する。救急告示病院で年間80人以上受け入れた場合に対して1人9,000円、当初予算に567万円提案する。

パッケージ事業の現状と課題は

加藤 厚労省の雇用対策事業として昨年10月スタートした

が、市としての基本戦略と課題は。

市長 国や県などの事業と組み合わせ、民間活力を活かし起業と雇用の創出を図る。市としてこれまで以上に重要な位置づけとし強力に支援していく。



おたまや公園にある「竹田市経済活性化促進協議会 事務局」



緑風会
中村憲史 議員

農業振興について

中村 農協の広域合併後の行政との連携は。

産業建設部長 農協との連携は

今までと同様であり、市としては、県や農協と連携を行うことにより地域での営農指導や販売戦略を展開する。

中村 今日の農業状況をふまえた中での新たな振興施策は。

産業建設部長 市における新たな振興策として園芸で、新たな産地づくり交付金を設定した。また施設園芸加算として、10万円を30万円に増額した。さらに集落営農組織に支援するように本交付全ての対策を講じる。

畑総大野川上流開発事業の償還について

中村 「覚書」を交した真意及び12月議会において請願が採択されたことを、どのようにとらえ対応はどのように。

産業建設部長 採択されたことは極めて重要と考える。「覚書」についての有効性は、法律の判断を仰がなければならない。

花水月について

中村 建設年度、建設費、累積繰入金額、起債償還残は。

総務企画部長 平成12年～13年度で、総事業費8億9,416万円、竹田振興整備株式会社との時に多額の累積債務が発生、5,520万円を補填、平成18年度より市直営で今日まで、5,131万円、起債の残は、4億

2,680万円である。

中村 民間委託、休館、売却等々検討しては。

総務企画部長 これまで温泉施設管理運営等調査特別委員会で複合施設を含めた検討をいただいており、提言をいただいた後、具体的な方向性を決定したい。



竹田温泉「花水月」の今後は...

食育教育の取り組みについて

中村 教育現場における食に対する教育は。学校給食における地場産品の利用状況及び食の安全、アレルギーへの対応は。今日、働いている職員の雇用は、等質問を行った。



由学の環
土居昌弘 議員

「協働」の竹田市づくり 市民と行政がつくる「和」

土居 「和を以て貴しとなす」とは、聖徳太子の言葉。市長は「この和の心で市政を行う」と言っている。現状はいかに。

市長 和の心を持つというのは理想。それに近づけていく。市民と行政が共に故郷を愛し、後世に引き継いでいこうとする連帯と信頼し合える関係づくりを進める。

自治の体制づく

土居 竹田市は、市民がお互いに助け合い、共に力を出し合いながらまちづくりをしていくことを求めている。現状はどうか。

総務企画部長 自治の主体は自治会。しかし、過疎化、高齢化によつて、その機能低下が危惧される。市全体の374自治会のうち、59自治会が10世帯未満。自治会の統合も検討中だ。

また、公民館活動も支援している。地域が自主的な活動に取り組むというのは、その地域の活力源。その活動が地域全体に広がることを期待している。

連帯から生まれる 自給自立策を

土居 自由競争で考えると、竹田市は「負け組」社会。しかし、勝てる手はある。それは、連帯だ。金がすべてという市場主義にはない、相互扶助を重視する連帯社会。農林業であれ、商工業であれ、医療福祉や教育、市役所の仕事であれ、それぞれが連帯し、様々な利得が竹田市の内部を循環するような社会。そういう連帯社会の考えを持つて、自給自立型、地域重視型の社会構造をつくらうではないか。

産業建設部長 地産地消の考えのもと、様々な分野と連携しながら、竹田市における循環型社会の構築を目指していきたい。



市民参加型ミュージカル（久住公民館）

合併3年間経過の所管と 今後の市政運営について



平政クラブ
渡辺龍太郎 議員

渡辺 合併後3年が経過したが総合計画の将来都市像「自然・歴史・文化を育む名水名湯田園観光都市」実現に向けた市長の3年間の所感と、今後の市政運営をどう考えるのか。

市長 平成17年の所信表明を逐一総括する時間はないが、決して順調に推移しているとは思わない。これまで自然災害に関わつて来た者として、着任早々土砂災害により人命を損することになった事は、誠に残念なこと。

全世界規模の異常気象の中で、雨の降り方の変化を実感し、危険箇所が多い本県では、これから充分心して取り組まなければならない。

汚濁水処理については、既存の農業集落排水事業への一般財源の繰り入れ状況、さらに、竹田市街地、直人家連担地浄化槽の設置状況を見ると、高額な初期投資と、その後の莫大な資金投資は、避けられないと判断している。それゆえ合併処理浄化槽での整備に転換しなければ

ならないと考えている。子育て支援では、他市にない事業を創設するなど力を入れてきた。出生数は、05年131名、06年154名、07年もこのまま推移すれば06年を超える。まさに喜ばしい限りである。農業については、県内最高の産出額を誇るものの、高齢化と担い手不足は、大きな課題となっており、中山間地の農業が見直される時がきつと来ると信じ、就業の場、企業誘致を進め、兼業という視点から努力をしていく。

今、私の中で大きく期待を膨らませているのは、人口150万を超す台湾高雄牛との交流である。この道筋ができ、観光産業面での交流に結びつけば、何と素晴らしい事であろう。一期最終年に向け、私にできることをさらに着実に進めていきたい。



台湾 高雄市との交流を！

ケーブルテレビについて



市民クラブ
荒巻文夫 議員

荒巻 高齢者が多い中、70%以上の加入者を見込めるのか。加入者50%以下の時の対策は。

財政面でも起債残高230億円、収入165億円と借金が多い。竹田中学校の商業高校跡地への移転に5億円と聞いたが。

総務企画部長 将来的な予測を含めた財政シミュレーションを作成して説明する。財政計画はそういう不安な部分を十分加味して作成し公表していきたい。

企画情報課長 告知端末機は全戸に設置する。収支目標は、70%。あとは100%を目指して加入促進していきたい。

荒巻 自信があつてアンケートもとらず進める以上、自分自身で責任をとるように。

農業振興について

荒巻 カボス・米の価値が下がる中、畜産等の配合飼料・燃料等の値上がりや後継者不足で農家は、大変な時期にきている。プログラムについては、今年の2

月に品種登録がとれ、市の特産品となった。市の対応は。

産業建設部長 カボスについては各種イベント等で他の産物と一緒にPRして消費者認知を高めている。

生産コストの更なる低コスト化に努めるとともに高品質で高価格な商品の生産販売を目指し推進する。

荒巻 若者が帰ってきて住める集落にするため、長道や水路の整備が必要。今のうちにコンクリ支給に予算をつけて整備して

おく必要がある。早急な後継者対策を。

農林畜産課長 コンクリ支給は、市単事業で700万円の予算。需要が多く3年待つ地域もある。

飲用水の確保について

荒巻 飲用水の確保が困難な地域がある。要請があればすぐ対応してほしい。

環境衛生課長 希望地域はすべて今年度実施予定。

一般質問



吉竹 悟 議員

救急医療のこれから

吉竹 地域医療の現状は全く改善されていない。市としての役割・責任はどうあるべきか問われる。市民の生命は、国・県にではない筈。どう考えるか。

市民福祉部長 昨年6月から救急告示を辞退し、本年1月から

再開した医師会・会長はじめ医師看護師の皆様感謝している。

今回、支援策として、運営の強化支援の補助制度を創設した。今後、県、医師会、病院等と協議し連携を図る。

吉竹 救急医療施設運営補助金として、567万円を新規に組んだことは評価できる。市として2次医療の再開への最大限の努力が必要ではないか。

市民福祉部長 2次救急実施のためには、医師確保が重要。国の新研修医制度の結果で問題があるが、県等と協議し努力する。

吉竹 生命を守る、医師・看護

師の声をもつと聞くべき。2分かけて搬送するより、管内30分以内で搬送できることを重視するべきでは。

市民福祉部長 市民の生命を守ることは最大の責務。医師会病院には最大限の支援をしたい。



竹田医師会病院

GATV事業について

吉竹 これまでの経過を検証する。実施設計に当たり業者選定は的確だったのか。実績がほとんどない業者がいたのでは。特記仕様書の内容は充分ではないのでは。維持管理費の考えは根拠があるのか。システムも充分か検討がないのでは。

企画情報課長 業者は指名願いが出ている中からの選考。積算は、農水省単価を基にしている。仕様書の中で申請関連資料を整え入れている。改修費は、シミュレーションの中で考える。

市長 3つを総体的にやるにはこれがベストと考える。



森 哲秀 議員

農業問題畜産振興について

森 畜産環境は極めて厳しい状況が続いている。飼料・燃料の高騰、子牛価格の低迷等の中で戸数と頭数及び今後の推移は。

農林畜産課長 内用牛は、平成15年飼養戸数663戸。頭数は6,042頭、平成19年度は500戸、頭数6,047頭となっている。今後の推移は経営者65才以上が40%。戸数は減少傾向にあるが頭数は横並びとなる。

森 自給飼料の確保及び経営のコスト化は。

農林畜産課長 転作田や草地、校地、遊休地を有効的に利用草地林地一体的利用総合整備事業を和州した草地や林間放牧他の造成整備、安全安心飼料増産対策事業、山林原野等を活用した放牧他の造成設備、自給飼料増産機械等の導入、耕畜連携、水田活用対策により稲発酵粗飼料作物の生産率水田放牧等の取り組み、産地作り交付金に

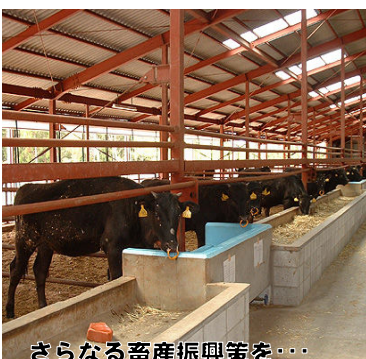
より転作田への飼料作物の作付により自給飼料の確保を図る。

森 畜産物の高品質・高価値化を進める手段は。

農林畜産課長 大分県豊後牛流通促進対策協会を設立し、大分豊後牛証明シールを発行し安全で美味しい牛肉を消費者に提供する。シールの条件は半開扱い量600kg・以上で、豊後牛肉質等級3等級以上のものに限定するこの取り組みを広げブランド化を進める。導入補助事業は、県内座種雄牛で豊肥市場の導入に限り出していく。県外種雄牛については現在考えていない。

森 竹田市の農産物の推移と今後の進め方は。

農林畜産課長 平成18年の農産物の算出額は、181億4千万円となっている。国内外事件により需要は増加傾向にある。農業振興計圧で消費者のニーズに対応した商品づくりを進め、平成27年の算出額200億円を目指す。



さらなる畜産振興策を・・・



井 英昭 議員

「ユニティバスについて

井 今後の路線バスの廃止予定どうなっているか。

企画情報課長 20年度に廃止予定は二股線と百木線。それ以外に12路線の廃止予定がある。井 約2千万円がスクールバスに使われているが、連携はどうなるのか。

企画情報課長 解決しなければならぬ課題もあるが、教育委員会と検討中。

自治体財政健全化法について

井 市民の間で、竹田市は財政破綻寸前と心配する声が多いが、市の見解は(財政見通し)。

財政課長 中期財政計画により、平成23年度までは赤字がなく、断定は出来ないが交付税の半減など特別の事情がない限り財政破綻の基準にはならないと考えている。実質公債比率は18年度で13%だが、ケーブルテレビ事業の償還を含めても14%台で推移すると推計している(35%で財政破綻)。

井 最後の頼みの綱である財政調整基金の残高はどうなるか。
財政課長 18年度決算では約23億9千万円で、中期財政計画により23年度は22億3千万円と推計されている。少なくとも平成23年度までは基金が枯渇することはないと判断できる。



スクールバスにて登校「おはよう！」

阿蘇 くじゅう観光圏二構想について

井 今国会で観光圏法は制定される見通しだが、竹田市として阿蘇地方と連携して取り組んだらと提言する。

商工観光課長 市としては、広域連携が益々重要との観点から、阿蘇市や豊後大野市などと連携を深め、さらにくじゅう連山をはさんだ九重町や祖母山をまたいだ高千穂町などとの交流を深めていきたいと考える。「観光圏法」がどのように有効かを見極め、今後は関係する団体

と協議・検討を重ねたい。



藤原 勇 議員

定住促進について

藤原 働く場所の確保、職の斡旋について伺う。

商工観光課長 竹田市を管轄する公共職業安定所(ハローワーク)は三重町に存在する。竹田市民にとっては不便で利用率も低いため、市が経常経費を支援して竹田相談室を開設している。

これにより利便性が確保でき就業機会にも繋がっている。

本年度から竹田市経済活性化促進協議会で厚生労働省の地域雇用創造推進事業(新パッケージ事業)に取り組んでいる。食や物産、観光において地域に密着した起業の促進に加え、U・Iターン就職希望者への情報提供等を行い、地場企業と求職者のマッチングを図って地域雇用を促進している。

大蘇ダムについて

藤原 国は2006年から08

にかけて試験湛水をしたが、地下等への浸透がひどく満水時に1日4万トン以上漏水するとのこと。貯水できないダムは農業用水として機能するのか。市として今後の対応は。

耕地課長 本年2月22日に九州農政局から説明があった。

貯水池周辺の地山の地下水位等の分析を行っている。ダムの堤体や地山の構造的な安全性については問題はない。国の対応としては、今後も試験湛水を継続して調査・分析を行い、対策について検討していく必要があるとしている。

平成20年度までとなっている事業工期については延長し、県等と相談していく。計画変更は、土地改良法の規定に基づき、必要な場合は法手続きを行わなければならない。



大蘇ダム

議員ふんわり記

大名行列



満開の桜の下を勇ましく練り歩く

今年の大名行列は、満開の桜の下、岡城はおろか沿道も黒山の人盛りで大盛況だった。私は近習侍役、私の前は人気者の奴、後ろは豊小の池田君、南小の後藤君扮する可愛い小姓、カメラに視線を送るがシャッターを切るのは小姓の方ばかり、しかも「かわい〜い」のおまけ付きである。余りにも対照的すぎると思ったが気を取り直して、往時の時代絵巻を成功させるため脇目も振らずに武士らしく歩んだのであった。

佐田啓二委員

ればならない。

昨年3月に総事業費593億5千万円になる旨、国から説明があつたが、その折県からはこれが最後との話を聞いている。市も県と同様の姿勢で臨みたいと考えている。



阿部重幸 議員

ケーブルテレビについて

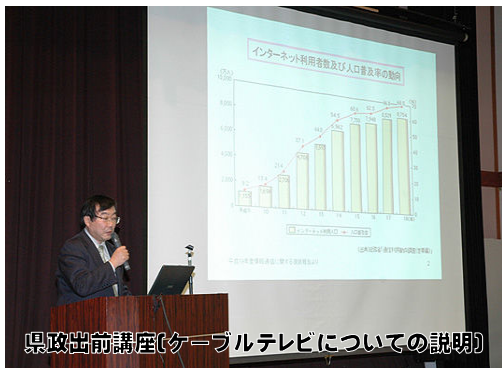
阿部 実施設計は認めたが、工事着工は議会の議決が必要だと思ふ。各説明会場で、執行部は平成21・22年で計画どおり進めるとしているが、介のままでは厳しいのではないか。

企画情報課長 住民への説明については、昨年5月市内19校医で行った。また、各地域団体からの要請、地域づくり懇談会等で竹田市の方針を説明した。事業を推進することによって定住促進、企業誘致ができる。会場では、高齢者世帯が多いため財政状況や加入率・使用料等が心配だという意見が出たが、概ね理解をいただいたと思われる。6月補正予算で議会に議決いただき、20・21年度に施設整備、

22年度に供用開始したい。

阿部 計画どおり進めるようだが、市民の少数の賛同で進めることはあまりにも乱暴な行政運営ではないか。

企画情報課長 この事業は今実施しておかなければ今後の竹田市の発展は望めない。今後シミュレーションを示し、市民の理解を求めていく。



県政出前講座(ケーブルテレビについての説明)

阿部 1月末の竹田市の人口動態をみると、65歳以上の1人・2人世帯加奈世帯(10・676人)の52.3%(5,594世帯)の中、運営や維持管理が出来るのか。

総務企画部長 議員はじめ市民の財政的な不安は理解できる。業収支のシミュレーションを議決前だが、お示ししていきたい。ケーブルテレビに取り組むことによつて、竹田市の財政がどのよ

うに推移していくかをできる限り説明していき、加入促進に全力を挙げたい。

副市長 2011年以降は、本事業整備に補助がつかかわらない。市民の周知を求めて、丁寧な説明をしていきたい。

阿部 平成21年度から事務組織及び機構が本庁方式に移行することの心配(相原保育所等)について質問をした。



大塚 廣 議員

図書館建設準備委員会の設立について

大塚 竹田市立図書館は、その施設の貧弱さにもかかわらずここ数年の利用者の増加には目覚ましいものがある。そこには図書館職員の努力はもとよりだが市民ボランティアなど、図書館をとりまく多くの人たちの熱い支えがあつてのことで、残された課題は施設の整備だけである。

議会でもこれまで再三図書館の必要性について論議されてきたが未だに図書館建設が日程に登らないのはなぜか。図書館は、思い立ってすぐに建設できるもの

はない。早急に建設準備委員会のようなものを立ち上げるべきと思うがどうか。



建替えが望まれている竹田市立図書館

教育長 現在の図書館は昭和35年に建設。老朽化もひどく、現在の利用状況からすると面的にも狭い。駐車場も不便。図書館の建替えには十分な検討期間も必要であり、建設に向けての委員会組織の設置は必要だと考える。現在、市民や図書館ボランティアの方々によつて図書館のあり方等、話し合いが進められているので、その方々と共に、意見交換の場としての検討委員会を設置したい。時期については、平成20年度の早い内にしたい。

研修報告

喜界島を研修して

鹿児島県奄美大島の北部にある喜界島を視察した。

台風の通り道にあたる喜界島では、盆出しの露地物農産物が大きな被害を受けている。

この対策として、導入した平張ネットハウスが効果を上げており、生産物に対する被害加減少している。

このハウスは害虫に対しても効果があり、施設の災害復旧については、被災箇所だけの取り替えて終わる。

竹田本においてもこのハウスの導入を被対してはと思った。

荒巻文夫委員



低コストで建設できる平張ネットハウスで効果を上げている喜界島を研修

医師会病院を
みんなで支えよう

大塚 救急医療については自治体の責務だと答弁をいただいているが、その核となる医師会病院を市民みんなで支えるしくみをつくるべきと思うが。

市民福祉部長 多くの市民が医師会病院について、その存在の意味を認識し支えていくことは必

要と思う。市としても最大限の努力をした。

副市長 補足だが、医師会病院はあくまで医師会の経営であるとの認識を持たないといけないこと。支援のあり方については、例えば県病ではOBがボランティアで総合受付を手伝っている例などもあるので、いろいろな具体策が検討可能と思う。

第1回定例会

《主な議案の審査結果》

- [illegible]

あ
と
が
き

▼家の下の桜が満開である。
“わが集落”の最高の財産である。見上げると竹田の空は晴れて、何か良いことがありそうな気がする。あらためて、自然の中で生きる喜びと自然への感謝である。

小代一幸

▼竹田市は、道路特定財源の暫定税率を加味した20年度予算措置がなされた。暫定税率を廃止すると確かにガソリンは25円安くなるが、財源依存率の高い地方は大打撃。行政全般に与える影響は計り知れないと思う。

大塚惟敬

大塚惟敬

▼久住小学校6年生の発表を聞いた。

竹田の未来について自然を守り都会と農村を結び世界にアピール。ケーブルテレビでも反対8人賛成6人と竹田市の事を考えている。素晴らしき発表だった。これから勉強にスポーツに頑張れ。

荒卷文夫

▼11名の卒業生が並ぶ。6年間の思い出のランドセルも。一人ひとりの名前も呼ぶ担任教師の声。万感の想いが会場の隅々まで伝わる。在校生手作りの花と送ることば。さあ、誇りを持って羽ばたけ22の瞳。

加藤正義

久住小学校 6 年生
「未来の竹田市
プラン」発表

3月6日、本会議終了後、久住小学校6年生15人を招いてグループごとに「未来の竹田市プラン」を発表してもらった。

市議会では年4回の定例会開
会日の本会議終了後、市内の有
識者を招いて話を聞く「レク
チャー30」を開催しており、今回
は児童を招いた。

**第94回大分県市議会
議長会定期総会開催される**

「第94回大分県市議会議長会定期総会」が4月16日、久住高原荘にて開催された。

県内14市の正副議長らが出席して、九州市議会議長会の定期総会に提案する議案などについて審議した。

